

報道関係各位

2020年度 入社訓示

森トラスト株式会社、森トラスト・ビルマネジメント株式会社、および森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社では、本日より社会人となる新入社員109名に向け、森トラスト、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ代表取締役社長の伊達美和子による訓示を、以下の通り配信しました。尚、新型コロナウィルスへの感染が拡大している現状を勘案し、本日の入社式開催は見送りました。

社会人の一員となった皆さん、入社おめでとうございます。現在、世界中で感染が拡大している新型コロナウィルスの脅威、オリンピックの延期、経済環境の悪化など、先行きが不透明になっている中で、期待と不安が入り混じっていることでしょう。

事業とは航海と同じで、いつでも晴天の中で舵を切れるものではなく、悪天候の中でも見誤ることなく舵取りをすることが求められます。現在の事業環境は予断を許さず、順風満帆な航海はさせてもらえないでしょう。しかしながら、荒波に立ち向かうときこそ、企業の真の力が試されるのです。

ここ数年、日本の不動産市況は堅調に推移しましたが、当社は社会・経済環境が安定しているときでも様々なリスクを想定し、準備をしてきました。念頭に置いていたのは、当社の経営理念である「信頼性」とともに、「成長性」と「持続性」をいかに担保するか、ということです。

中長期計画「Advance2027」の第一期の最終年度となった昨年度は、業務フロー改善やデジタル化推進など社内の体質強化に取り組みながら、予定よりも早い進捗で収益・利益目標を達成し、財務体質の強化を図りました。また、各エリアで耕してきた土壌への種蒔きが終わり、「Advance2027」の第二期の開始とともに、いよいよ芽が出る準備は整っています。

一方、昨今のウィルス蔓延による予想外の社会環境の悪化は、奇しくもテレワークなどの働き方や、EC利用といった消費行動など、IT普及に伴う生活スタイルの変化をさらに加速させています。そして今後、AIの活用がさらに進むことで、社会はさらに変革していくことが予想されます。

当社も働き方改革の一環として、テレワークなど多様な働き方への対応策を講じてきています。そのため、この環境下においても、一定の事業継続が可能となっています。今般の状況を契機として、働き方改革を加速させるとともに、予期せぬ事態においてもリスクを最低限に留め、事業継続に向けて柔軟に対応できるよう、一段進んだ体制の整備を進めていきます。

このような時だからこそ皆さんには、仕事を通じて「考える力」「企画する力」「実行する力」を養ってほしいと思っています。先行き不透明な環境におけるビジネスでは、冷静な洞察力で一歩、二歩先の社会を予測し、既成概念にとらわれない発想で新しいアイデアを生み出し、そしてそれを高いレベルで実行していくことが求められます。これは、変革期だからこそできることでもあり、我々が挑戦し続けなければならないこともあります。

ですから、皆さんには緊張感を持って、共に社会という大海原の航海に挑んでいただき、当社の「Advance2027」第二期、第三期の担い手として、活躍していただくことを期待しています。

森トラスト株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社
代表取締役社長 伊達 美和子